

ズビグニェフ・スコヴロン教授を迎えて
ヴィトルト・ルトスワフスキ生誕 100 周年記念講演 & 演奏会

ポーランド楽派を聴く ～ショパンとルトスワフスキ～

2013 年

10 月 15 日 (火)

19:00 開演
(18:30 開場)

札幌大谷学園百周年記念館同窓会ホール
(札幌市東区北 16 条東 9 丁目)

入場料：前売り、当日ともに 1500 円 (全席自由)
お席に限りがあります(約 80 席)。お早めにお求めください。

第 I 部

《対談》

『ショパン全書簡 1816～1831 年』をめぐって
ズビグニェフ・スコヴロン (ワルシャワ大学)
三浦 洋 (北海道情報大学) — 通訳つき —

《演奏》F.ショパン

- ◆ いとしい人 作品 74-12 ほか
松井亜樹 (ソプラノ)、高橋健一郎 (ピアノ)
- ◆ バラード第 3 番 変イ長調 作品 47
坂田朋優 (ピアノ)



第 II 部

《講演》

ヴィトルト・ルトスワフスキの音楽における芸術性
ズビグニェフ・スコヴロン — 通訳つき —

《演奏》W.ルトスワフスキ

- ◆ 遅れてきたウグイス ほか
松井亜樹 (ソプラノ)、高橋健一郎 (ピアノ)
- ◆ ピアノのための民謡風メロディーより
川染雅嗣 (ピアノ)
- ◆ 舞踏前奏曲
菊地秀夫 (クラリネット)、谷本聡子 (ピアノ)



出演者紹介

〈写真左上から時計回りに出演順〉

三浦 洋、Z.スコヴロン
谷本聡子、松井亜樹
菊地秀夫、高橋健一郎
川染雅嗣、坂田朋優

Witold Lutosławski

ヴィトルト・ルトスワフスキ

(1913年1月25日～1994年2月7日)



1913年、ポーランド・ワルシャワ生まれ。音楽への興味は幼い頃から大変強く、ピアノを6才で本格的に習い始め、初めて譜面に曲

を書いたのが9才の時だった。子供時代はワルシャワではなく家族が所有する土地で育った。1939年にドイツ軍とソ連軍によるポーランド侵攻が始まり、家族にとっても激動の時代となった。ピアノ演奏に長けていた父親はルトスワフスキ氏が5才の時、ポーランド解放のため軍隊の組織化に参加したことを理由に処刑された。医師の母親は、残された三人の子ども達の生活を支え懸命に働いたが、二人の兄のうち一人は後に、第二次世界大戦中、ソ連軍によりシベリアに連行され、収容所で亡くなった。

戦後、1950年代半ばからポーランドでは政治上の引締めが徐々に緩和された。国際情勢の変化を境に氏の作品は海外でも広く知られ始め、1960年代に入ると、国際的な活動も増えた。晩年は主にソリストとオーケストラのための作曲と音響言語の研究に力を注いだ。

東欧民族音楽の知見をもとに偶然性も取り入れた無調音楽の新しい可能性を切り拓いた作曲家。《葬送音楽》や《交響曲二番》などの代表作を通じ、新しい無調性音楽の手法と、独自の「偶然性」の手法を導入するなど、現代的な音楽表現の手法を開発することによって、20世紀音楽の巨匠として、第二次大戦後の音楽界に大きな影響を与えた現代ヨーロッパを代表する作曲家である。

第9回(1993)京都賞 精神科学・表現芸術部門受賞者

(京都賞 eMuseum より)

Zbigniew Skowron

ズビグニェフ・スコヴロン

ワルシャワ大学音楽学研究所教授。ワルシャワ大学でポーランド文献学と音楽学、ワルシャワ音楽大学で音楽理論を学んだ。『アヴァンギャルド音楽の理論と美学』(1989)、『現代アメリカ音楽』(1995)など 20 世紀音楽の研究や、『ルトスワフスキ研究』(2001)、『ショパン全書簡1』(2009) = 写真右下は邦訳 = の編纂などの仕事がある。



主催：「W.ルトスワフスキ生誕 100 周年記念講演&演奏会」実行委員会

後援：北海道ポーランド文化協会、ポーランド広報文化センター、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、札幌市・札幌市教育委員会、日本アレンスキー協会、日本ショパン協会北海道支部、北海道作曲家協会、札幌音楽家協議会

お問い合わせ先： Tel: 011-790-8610

e-mail: ssamitsu@hotmail.com (佐光)

交通機関： 地下鉄東豊線「東区役所前」下車2・3番出口徒歩7分／「環状通東」下車1番出口徒歩7分
中央バス 東 17 北光線(バスセンター発)／東 19 北光・北口線(JR 札幌駅北口発)「大谷学園前」下車徒歩5分

※ 駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。(右の地図をご参照ください)

※ プログラムは予告なく変更させていただく場合があります。予めご了承ください。

※ 入場券は市内プレイガイドでもお求めいただけます。

◆交通アクセス◆

札幌大谷学園百周年記念館同窓会ホール
東区北 16 条東 9 丁目-1-1
TEL: 080-4049-0956 (安藤・当日担当)

